

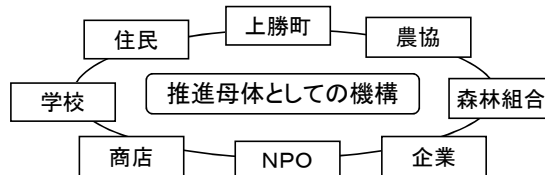
「社会イノベーション推進のためのモデル事業」事業計画案(概要)

提案者	上勝町長 笠松和希
事業の名称	上勝町ゼロ・ウェイスト推進モデル事業
事業実施地域	徳島県 上勝町
事業費	
事業の内容 (概要)	<p>1. なぜ上勝町か</p> <p>◆【どこにでもある過疎の町だけでも元気いっぱい】 徳島市中心部から車で約一時間程の場所に位置しており、人口は1,997名854世帯(平成21年9月1日現在)、高齢者比率が49.5%という、過疎化と高齢化が進む町だけど、全国から注目される町。</p> <p>◆【農商工連携の先進町】 地域資源である「葉っぱ(つまもの)」を活用し、「彩(いろどり)」と名づけた地域ビジネスを展開し、ブロードバンド・ネットワークを活用し、20年近くにわたり農商工連携への取り組みを町ぐるみで行っている。</p> <p>◆【全国に先駆けた「ゼロ・ウェイスト宣言」】 ごみの34品目分別等に取り組みごみの再資源化等を進め進めるとともに、地域にある木質バイオマス等の利活用による再生可能エネルギーへの代替を進めることで、CO2の排出削減等も行っている。</p> <p>2. 事業の目的</p> <p>新たに住民・役場・NPO・学校・企業が主体的に参加する「地・職・住推進機構(仮)」(以下「機構」という。)を事業推進母体として設立し、既に全町に導入済みの光回線を利用した、更なるゼロ・ウェイストを推進するためのネットワーク・システムを構築することで、環境活動をベースとした行政に頼ることのない、住民・企業・NPO等の参加による自立した地域づくりを目指すものである。</p> <p>3. 事業の概要</p> <p>町が事業主体となり、機構を構成する各主体と連携して次のシステムを構築する。</p> <p>(1)ゼロ・ウェイストネット(仮)の構築</p> <p>新たなネットワークを活用し、住民と商店を繋ぎ、地産地消を進めるとともに、ネットでの予約販売・宅配・回収により容器包装の発生抑制等を行う。また、配送及び回収時に生活実態の確認やスマート・グリッドを活用した電気の使用量による高齢者等の見守りを行う。</p> <p>(2)ゼロ・ウェイスト版スマート・グリッド(仮)の構築</p> <p>機構が特定規模電気事業者となって町全域の家庭を一つの特定規模とみなして、小規模再生可能エネルギーの買取・販売や、町内自然エネルギー発電可能地における小水力発電機等のリースを行うとともに、ネットを活用した発電量のモニタリングも行う。また、化石燃料を代替するための施設のリースやエネルギー源となるチップ・ペレットの製造販売を行う。</p> <p>4. 事業の効果</p> <p>この事業は、人口減少が進行する本町において、行政に頼ることのない、住民・NPO・企業等の参加による、まさに「新しい公共」による自立した地域づくりであり、高齢者の安全・安心の確保や雇用の場も創出することになる。また、ゼロ・ウェイスト活動をベースとした持続可能な地域モデルを創出することは、環境を切り口とした社会イノベーションとして「日本のモデル」となる。</p> <pre> graph TD Root["「地・職・住推進機構(仮)」"] Root --> S1["(1)ゼロ・ウェイストネット(仮)"] Root --> S2["(2)ゼロ・ウェイスト版スマート・グリッド(仮)"] S1 --> S1_1["①食料・日常生活用品"] S1 --> S1_2["②高齢者等の見守り"] S2 --> S2_1["①電気の地産地消"] S2 --> S2_2["②熱エネルギーの"] S1_1 --- C1["◆インターネットでの予約販売・宅配・回収 ◆野菜や加工品の地産地消 ◆容器包装の発生抑制"] S1_2 --- C2["◆スマート・グリッドを活用した電気の使用量による安否確認 ◆食料品等の配送及び回収時に生活実態の確認"] S2_1 --- C3["◆小規模再生可能エネルギーの一般からの買取・販売 ◆太陽光発電機等のリース等"] S2_2 --- C4["◆化石燃料を代替するための施設(バイオマスボイラー、薪ストーブ等)のリース等 ◆チップ・ペレット等の"] C1 --> Base["ゼロ・ウェイスト推進のためのネットワーク構築(光回線による一括管理)"] C2 --> Base C3 --> Base C4 --> Base </pre>

①環境、教育・文化、医療・福祉、子育て支援、まちづくり等の地域の社会的な課題に、地域住民や地域組織が主体的に参画したり、NPO等を組織して、その解決に向けて取り組むものであるか。

新たに組織する機構は、地域住民・行政・第3セクター等の企業・NPO法人・地元大学・高校・小中学校等多様な分野からの主体的な参加を呼びかけ、事業を推進する母体となるもので、課題ごとに専門部会を設け活動を展開し、それぞれの活動を総合的にプロデュースしていくこととしており、事業終了後も町のゼロ・ウェイスト推進の中核となるものである。

また、この呼びかけは、上勝町の政策として取り組んできた「まちづくりは人づくり」の成果として、今まで培ってきた人と人との信頼、人間関係を生かしたものであり、単に事業実施のためではなく、上勝町の将来を担う人材や団体が構成されることになる。



②既存の制度の枠組みだけでは十分な活動を展開して効果を発揮することができず、その制約を乗り越えて制度・領域横断的な活動を展開し、制度や規制の改革の見直しにつながる内容を含み、他の地域のモデルになるものであるか。

機構において特定規模電気事業を行うこととし、今回モデル的に地域内で生産された再生可能エネルギーの買取を増やし、一般電気事業者への販売を行っていくこととしている。特に、町の面積の大部分が山林である上勝町において、木質バイオマス燃料や小水力の活用を核とした取組は、エネルギーの地産地消だけにとどまらず、地球温暖化対策としても有効な手段となりえる。

例えば、現時点では未だ再生可能エネルギーの全量買取制度が出来ておらず、太陽光(48円/kw)以外は買取価格(水力:5~8円/kw)が安く、各エネルギーごとに価格差があるため、小水力マイクロ発電の普及も進んでいない。今回の事業の中で、可能であれば太陽光以外の再生可能エネルギーについて、機構におけるマイクロ発電の全量・同額の買取制度を実現することにより、小型パワーコンディショナー等周辺技術の改良とともに、太陽光以外のマイクロ発電の普及を進め、町内特定規模電気事業者での地産エネルギーの利用を可能とする。

なお、電気事業法・河川法・廃棄物処理法・計量法等についてクリアしていくべき規制を明確にして、その都度対応を考えたい。

また、インターネットを活用した食料・日常生活品用品の容器包装の発生抑制を持った物流システムでの日常生活の見守りと電気の使用量に着目した安否確認は、介護保険やその他の福祉制度に頼らない、新たな高齢者等の「見守り」と買い物難民への対策として活用できると考えている。

③事業の展開により、地域社会の様々な構成員が「居場所と出番」を得られるものであるか。特に、地域の社会的な課題の解決を地域における雇用の創出や社会参加の促進に結びつける要素を持つものであるか。

機構においては、主に各家庭と拠点事務所をネット等でつなぎ、高齢者の見守りがかねた御用聞きシステムを構築し、買い物難民の是正とあわせ、可能な限り容器包装を削減した形の食糧・日常生活用品・書籍・農業用資材・薪・チップ・ペレット等の宅配とごみの回収を行うとともに、グリーンエネルギーの啓発・利用推進・販売等の地域資源を活用した業務を行うこととしている。

また、この機構は生産者と消費者を結び全体をプロデュースするための事務局であり、この事業を実施することによる課題を、対話により調整する機能を持つことになる。また、宅配を行う運搬者・経理等の専従職員、ニーズ把握やその他本事業に関わる様々な活動において、新たな雇用を創出するとともに、上勝町の将来を考える住民・町内商工業者・企業・農林業者等の参加の場所となることが見込まれる。

④事業の内容に応じた学識経験者や関係者等の参集を求め、事業の安全性や効果について評価する体制を整備しているか。

機構における事業の安全性や効果についての評価を行うため、徳島大学教授や一般企業役員・住民・NPO法人の代表等で組織する評価委員会を設置し、定期的な評価の場を設けるとともに、情報公開の原則に基づき町内広報やホームページ等で情報開示をおこなうこととする。

事業に求められる要素について

担当部局 上勝町役場 産業課
 担当者氏名 東 ひとみ
 電話番号 0885-46-0111
 メールアドレス azuma_hi@